



第14期定時社員総会

2024年5月22日(水)、JAIISAの第14期定時社員総会が東京・品川プリンスホテルで開催されました。本総会では昨年度の事業と収支決算、理事選任の議案などが承認されたのち、今年度の事業計画と収支予算の報告がありました。懇親会には約150名が参加されました。



会報JAIISA夏号 CONTENTS

特集 第14期定時社員総会 概要 P1

特集 第14期定時社員総会 2024年度事業計画 P2~3

2023年 自動認識機器の市場動向調査 P4

2023年度 新会員企業のご紹介 P5~8

2024年度 自動認識技術者資格認定講習・試験のご案内 P9

第26回自動認識総合展のご案内 P10



第14期定時社員総会



総会懇親会

第14期定時社員総会を開催

一般社団法人日本自動認識システム協会（所在地=東京都千代田区岩本町、略称=JAISA）は5月22日、16時から18時半まで東京・品川プリンスホテルで2024年度の第14期定時社員総会、通常理事会、総会懇親会を開催しました。

本総会は正会員111社中、29社の出席を含め、議決権行使書を86社から受領しているため、定足数を満たし成り立ちました。第1号議案は定款第44条第2項に基づく2023年度事業報告及び収支決算について。第2号議案は定款第24条第1項に基づく理事の選任について。議案は承認され、続いて2024年度の事業計画と収支予算を報告して総会は終了しました。

第14期定時社員総会後、2024年度第1回通常理事会が行われ、議案が承認されました。JAISAは理事19名、監事2名で新体制をスタートしました。

続いて、17時より第14期総会懇親会が開催され、ご来賓をはじめ、関係団体、会員企業より約150名にご参加いただきました。

懇親会冒頭にJAISA相良会長は、〈コロナ禍を経てコミュニケーションの手段や方法が電子データと通信環境を活用してスピードと範囲を拡げ、デジタル社会の実現を加速させている。新しい日常では非接触化、省力化が進み、産業界では更なる業務の効率化、生産性向上、企業、業界、国境を越えたデジタルデータの相互利活用を可能にする共通データ基盤がグローバルに整備されようとしている。自動認識技術はさまざまな新技術と融合してデジタル化を促進し、経済の発展と社会生活の利便性向上に貢献し、社会課題であるSDGsや加速するDXへの取り組みにおいて基盤技術の一つとして進化させる可能性を持つと確信している〉と挨拶を述べました。

来賓を代表して、経済産業省製造産業局産業機械課課長安田篤様は国内の景況について、〈長く続いたコストカット型の経済から投資・賃金・物価も伸びる成長型経済に移行していくなか、自動認識システムは製造、物流、流通、セキュリティなど消費者の利便性を向上させ、自動化に伴う生産性向上に役割を担う。また、本年9月に開催予定の自動認識総合展での新たなソリューションに期待する〉と祝辞をいただきました。

懇親会の中頃には2023年度に入会された会員企業6社ご紹介があり、ご挨拶をいただきました。

〈2023年度入会企業〉（入会順）
 (株) 弥栄様 (株) ケイエム様
 アビームコンサルティング(株) 様
 (株) エイジス様 (株) シリウスビジョン様
 (株) 日立ケーイーシステムズ様

懇親会は和やかに進行し18時半に中締めとなりました。JAISAは本年、自動認識の普及発展のための「会員サービス向上」を活動方針として、「AUTO-ID for DX/未来を形にする自動化ソリューション」をスローガンに、自動認識技術の活用促進を通じて、社会の安全・安心・利便性向上に貢献すべく事業を展開してまいります。



経済産業省
製造産業局 産業機械課課長
安田 篤 様



(一社)日本自動認識システム協会
代表理事会長
相良 隆義 様

2024年度 JASA役員一覧 (役職/50音順)

一般社団法人日本自動認識システム協会 理事・監事		
役職	氏名(敬称略)	会社名
代表理事会長	相良 隆義	株式会社デンソーウェーブ
代表理事副会長	鈴木 圭	NECプラットフォームズ株式会社
副会長	森田 昌洋	オカバマーキングシステム株式会社
専務理事(常勤)	古村 浩志	一般社団法人日本自動認識システム協会
常務理事(常勤)	熊本 正宏	一般社団法人日本自動認識システム協会
理事【新任】	阿久津 和弘	富士通フロンテック株式会社
理事	荒木 勉	上智大学
理事	池上 隆介	株式会社日立製作所
理事	市野 将嗣	電気通信大学
理事	岡田 幸紀	アイメックス株式会社
理事	小平 尚	株式会社マーストーケンソリューション
理事	斎藤 英雄	慶應義塾大学
理事	笹原 美徳	サトーホールディングス株式会社
理事	佐藤 誠	東芝テック株式会社
理事【新任】	柴谷 浩毅	TOPPANデジタル株式会社
理事	高嶋 照仁	ゼネラル株式会社
理事	藤沢 修	TOPPANデジタル株式会社
理事	宝代 彰	株式会社フェニックス
理事	山本 健太郎	株式会社リコー
監事	小森谷 豊	税理士法人レインボー
監事	平本 純也	アイニックス株式会社



活動方針

JAISA設立の目的に沿って自動認識業界の産業振興に直接的・間接的に貢献し業界をリードしていく。そして、我が国経済の発展及び国民生活の向上に寄与する。

本年度は、ポストコロナ環境下での新たな社会課題に取り組み、働き方の変化に対応し、自動認識の普及発展のための会員サービス向上と、SDGsとDXに貢献する自動認識システムの普及推進を方針の柱とする。

(1)自動認識の普及発展のための「会員サービス向上」

普及啓発事業、資格認定事業、部会・プロジェクト活動を通じて会員企業への情報提供や教育支援とともに、展示会、システム大賞、情報交流会、システム事例などのWebコンテンツによる会員からの情報発信の機会を提供し会員サービスの向上を図る。

あわせて、当協会の会員であることの利点を広くアピールし、会員を拡充すべく協会の広報活動に注力する。

(2)SDGsとDXに貢献する自動認識システム

本年度は「AUTO-ID for DX未来を形にする自動化ソリューション」と銘を打ち、自動認識技術がDXを実現し、SDGsを支え、無人化、非接触化、省力・省人化に貢献することの普及啓発を推進し、新たな社会課題への対応を当協会が主導し会員との連携を深めて取り組む。

あわせて、各種セミナー事業、資格認定事業、普及啓発活動により自動認識システムに関わる人材育成のすそ野の拡大に注力する。

事業計画

1. 広報及び普及啓発事業

展示会やセミナー開催は、自動認識ユーザ視点で、新技術や新用途を積極的に取り入れ、活性化に取り組み、普及活動を企画し、会員内外に向けた事業展開を行い会員企業の事業拡大に貢献する。

(1)第26回自動認識総合展の主催

2024年9月11日から13日まで、東京ビッグサイトで開催する。デジタル社会のDX推進のための基礎技術としての自動認識技術をアピールし、先進の画像認識技術を集めた「画像認識×AIゾーン」を設置して、次世代の自動認識を紹介する。

また、自動認識技術の活用事例等を紹介するセミナーの無料化を継続し、潜在ユーザの来場促進を図るとともに、出展効果を高め、来場者集客増と自動認識技術・ソリューションの普及促進に努める。

(2)自動認識総合展・名古屋2025の主催

2025年2月18日から19日まで、名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）で自動認識総合展・名古屋2025及び自動認識セミナーを開催し、中京圏における自動認識技術・ソリューションの普及促進に努める。

地元企業で構成する開催企画プロジェクトを設置し、出展者/来場者の意見を反映した展示を目指す。なお、2026年は大阪開催を予定する。



第25回自動認識システム大賞授賞式(2023年9月13日/自動認識総合展会場)

(3)セミナーの開催

①展示会セミナー

「第26回自動認識総合展」及び「自動認識総合展・名古屋2025」の併催事業として自動認識セミナーを開催する。各市場における新しい事例や技術動向の講演を企画し、聴講者に対し新しい知識の習得やビジネスモデル構築に役立つ情報を提供する。

②自動認識の基礎知識セミナー

自動認識ユーザ企業の社員教育として本セミナーを継続する。集合形式とオンラインを併用して今期5回実施する。開催予定は、4/25、6/21、8/28、10/23、12/6
 また、講師派遣形式のセミナーも申込みにより随時実施する。

③JAISAフォーラム

当協会の部会・プロジェクト活動及び研究開発事業の内容や成果、関連業界動向などを周知し、自動認識市場の活性化につなげる。

④JAISAビジネスセミナー

自動認識ビジネス及び企業経営に関わる旬なテーマを取り上げ、会員のビジネス推進に有意義な情報を提供する。

(4)自動認識システム大賞

先進的かつその効果が顕著な、自動認識に関する技術またはシステムを表彰する制度として自動認識システム大賞を実施する。本年で26年継続開催。受賞作品は、報道機関に公表し、当協会ウェブサイト及び自動認識技術情報誌「JAISANOW」で紹介する。

2. 資格認定事業

自動認識技術者の育成・確保を図り、その技術を広く社会に知らしめていくため自動認識技術者資格認定登録を行う。

(1)自動認識基本技術者資格認定講習・試験

受講者の参加機会の確保と負担軽減のためにオンライン講習を行い、3会場資格試験を実施する。本年度も7月に東京、大阪、仙台、11月に東京、名古屋、福岡で実施する。
 講習：2024年 7月4日-12日（再視聴含む）
 試験：2024年 7月13日 東京、大阪、仙台
 講習：2024年11月7日-15日（再視聴含む）
 試験：2024年11月16日 東京、名古屋、福岡

(2)RFID専門技術者資格認定講習・試験

対面受講とリモート講習、及び試験を東京で実施する。
 講習：2025年2月6日-8日（東京またはオンライン）
 試験：2025年2月15日 東京

3. 国内市場動向調査

国内唯一の自動認識産業団体として、当該市場の市場動向を把握するため出荷実績調査を実施する。各部会・委員会から選出されたメンバーで市場統計委員会を構成し、2024年1月から12月末までの国内企業出荷実績調査、分析及び2025年の市場動向予測を行う。

(2023年の調査内容は、一部抜粋して次頁に掲載)

4. 規格の立案及び標準化の推進事業

産業界の関連団体と協力して業界の共通課題を解決し、産業の発展に寄与する。国内審議団体として活動する標準化会議を開催及び他団体会議に参加し国際・国内標準化活動を展開する。

(1)ISO TC 122/WG 12 標準化推進

ISO/TC 122 (包装) /WG 12 (サプライチェーンへの物流技術の適用) を開催する。

(2)ISO/IEC JTC 1/SC 31標準化推進

ISO/IEC JTC 1/SC 31 (自動認識及びデータ取得技術) /WG 1 (データキャリア)、WG 2 (データストラクチャ)、WG 4 (RFID)、WG 8 (自動認識規格のアプリケーション) に参加する。

(3)ISO / IEC JTC 1 / SC 37標準化推進

ISO/IEC JTC 1/SC 37 (バイオメトリクス) に参加する。

5. 部会・プロジェクト活動

部会・プロジェクトは、会員企業の事業拡大に役立つ付加価値を提供するため、仲間作りの場の提供、業界や関連省庁から最新情報の提供、普及啓発活動、業界共通課題の発見と課題解決への取り組みとして活動する。

(1)会員への業界情報提供と会員相互交流・親睦活動

①情報交流会の開催

自動認識業界やユーザの動向、導入事例、最新技術、国際・国内規格、規制緩和、関連省庁の最新情報及び当協会の研究開発事業の内容や成果を共有するため情報交流会を開催する。

②ユーザ見学会の開催

自動認識技術のユーザ現場を視察し、導入の背景や効果、課題等について意見交換を行う見学会を実施する。

(2)市場課題の解決に向けた活動

①課題抽出の取り組み (意見交換会等の開催)

解決すべき業界共通課題の発見を目的として、情報交流会の場を活用あるいは意見交換会等を開催して各部会・プロジェクトのメンバーからの課題提起を促すと共に業界に共通する課題を抽出する活動に取り組む。

②業界課題の解決に向けた活動の実施

部会・プロジェクトの中に技術グループや作業グループを設置して活動する。また、関係省庁や関連団体へ積極的に働きかけ、当協会の研究開発に繋げ、課題解決に結びつける。

(3)技術分野横断活動

①部会・プロジェクト連絡会の開催

部会・プロジェクトの活動と課題を共有し、組織間連携を行い活動活性化のための連絡会を開催する。

②合同部会の開催

自動認識システム大賞受賞作品の内容を聴講できる合同部会セミナーを開催する。

(4)会員外への情報提供、普及啓発活動

①JIS X 0527普及セミナーの開催

2017年度に規格制定した「JIS X 0527(自動認識及びデータ取得技術。バーコードプリンタ及びバーコードリーダの性能評価仕様)」の規格の周知活動として、一般向けセミナーを継開催する。

②RFID活用ガイドラインの充実化

RFIDユーザのための『RFID活用ガイドライン』(製造業編)の改訂を検討する。効果的な活用を促すために、ケーススタディの第3弾「S-3 資産管理 金型管理」編を新規に作成する。

③生体認証ビジネス実践セミナーの開催

生体認証を取り巻く環境、導入事例及び研究などをわかりやすく紹介するセミナーを開催する。

④生体認証国際標準化セミナーの開催

生体認証の国際標準化やそれに関連するID認証(SC17)、情報セキュリティ(SC27)、金融サービス(TC68等)やSC37のワーキンググループの国際標準化動向を紹介するセミナーを開催する。

⑤自動認識システム事例セミナーと導入事例集の更新

自動認識技術導入事例セミナーの開催と、ウェブサイトで公開する導入事例集の追加/更新に取り組む。

6. 研究開発活動

自動認識市場拡大のための課題や阻害要因の解決と、新市場を創造する目的のために活動する。

(1)バーコード関連

①ダイレクトパーツマーキングガイドラインの改訂

当協会の提案で開発されたISO/IEC TR24720の改定作業をバーコード部会技術グループで米国と共同で取り組む。

②バーコードプリンタ及びバーコードリーダの性能評価仕様の改正

当協会の提案で開発されたJIS X 0527の改正作業をバーコード部会技術グループで取り組む。

(2)RFID関連

RFIDタグ導入を検討するユーザのために、実験検証の実施やガイドライン作成を通し、現場業務の効率化や自動化への貢献を目指す。

(3)バイオメトリクス関連

①生体認証のパラダイムシフトと社会実装課題の検討

マーケティンググループで生体認証の利用パターンを整理する。コロナ禍を経て社会受容性と技術革新が起きており、パラダイムシフトを明示し、社会実装課題の検討や、ビジネスの新しい切り口を明示し、ビジネスチャネルを検討していく。

②画像処理を用いた生体認証性能評価方法の標準化

精度評価技術グループで、生体認証性能評価方法に利用できる画像処理を選定し、技術的到達性とテスト費用削減効果を調査する。ISO/IEC JTC1/SC37 FDIS 5152の国際標準化実現をサポートしていく。

③生体認証導入支援者向け教育の整備

デジタル倫理ワークショップを通じて、想定外のトラブルを起こさないポイントを共有する。

2023年自動認識機器の市場と2024年の市場予測

JAISAではこのほど、2023年1月から12月までの自動認識機器市場の出荷金額を公表しました。本調査は、JAISA市場統計委員会が会員企業を中心にアンケートを実施して、110社の回答を取り纏めたものです。

本調査では、2023年の自動認識機器市場の出荷金額は2,679億円で2022年比4.4%増となっています。また、2024年の自動認識機器市場の出荷予測金額は2,739億円で2023年比2.2%増としています。

分野別ではバーコードリーダ、RFID、ソフトウェアの出荷金額が増加し、バーコードプリンタ、バーコードサプライ、バイオメトリクスの出荷金額が減少しています。2023年自動認識市場全体の出荷金額は、EC物流、医療、食品などでの堅調な需要と製造、小売の需要、同年後半からインパウンドなどの需要が増加しました。

2024年自動認識市場全体予測は、出荷金額で、23年対比2.2%増の2,739億円としており、製造の需要が伸びれば、対比5.0%以上の増加も期待できる、としています。

●バーコードリーダ

EC物流、製造、医療などでの需要が堅調で、運輸、流通での特需もあり、出荷金額は前年対比18.1%増の373億円。特に、手持型バーコードリーダ(無線型、コードレス型、メモリ型、スマートフォン装着型含)が医療などでの需要が戻り、無線型ハンディターミナル(業務用スマートフォン、業務用タブレット含)も増加している。

●バーコードプリンタ

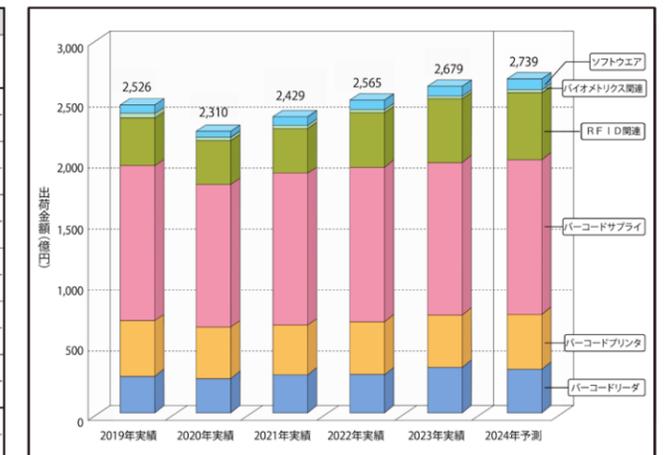
バーコードプリンタは、EC物流、通販、医療などの需要は堅調で、小売、製造などの需要が予測より低く、出荷金額前年対比0.4%減の429億円。

自動認識市場の国内市場金額推移

上段=出荷金額(百万円)
下段=対前年比(%)

	2019年実績		2020年実績		2021年実績		2022年実績		2023年実績		2024年予測	
	回答件数	(N=121)	回答件数	(N=112)	回答件数	(N=115)	回答件数	(N=111)	回答件数	(N=110)	回答件数	(N=110)
バーコードリーダ	38	29,845 96.3	37	28,023 93.9	33	31,198 111.3	31,594 101.3	32	37,328 118.1	31	35,742 95.8	
バーコードプリンタ	37	45,839 102.2	36	42,336 92.4	36	40,893 96.6	43,026 105.2	35	42,875 99.6	34	44,974 104.9	
バーコードサプライ	42	127,131 101.1	42	116,963 92.0	41	124,623 106.5	126,655 101.6	42	124,954 98.7	42	126,775 101.5	
RFID	66	39,073 109.3	70	36,037 92.2	68	36,433 101.1	44,974 123.4	65	52,468 116.7	66	55,091 105.0	
バイオメトリクス	12	3,875 115.5	11	2,784 71.8	11	2,573 92.4	2,526 98.2	10	2,201 87.1	10	2,416 109.8	
ソフトウェア	41	6,787 130.5	34	4,827 71.1	33	7,181 148.8	7,724 107.6	38	8,085 104.7	38	8,901 110.1	
合計		252,550 102.7		230,970 91.5		242,901 105.2		256,499 105.6		267,911 104.4		273,899 102.2

自動認識市場金額の推移



JAISAには2023年度に7社の企業にご入会いただいています。本誌では、新たにご入会いただいた企業をご紹介します。現在、JAISA会員は125社(2024年6月現在)。新会員の皆さまも既に研究開発センターの部会・プロジェクトに参加して、自社のご紹介やソリューションなどのプレゼンテーションを行っています。今後、部会・プロジェクト活動や展示会などで、各社の製品に触れる機会も多くなることでしょう。



社名	参加する部会・プロジェクト					
	バーコード部会	RFID部会	バイOMETRICS部会	システム部会	医療自動認識プロジェクト	画像認識プロジェクト
株式会社弥栄		●				
株式会社ケイエム				●		●
アビームコンサルティング株式会社		●				
SAGジャパン株式会社		●			●	
株式会社エイジス		●				
株式会社シリウスビジョン					●	●
株式会社日立ケーイーシステムズ	●	●		●		●

HITACHI
Inspire the Next

株式会社日立ケーイーシステムズ
Hitachi KE Systems, Ltd.

<https://www.hke.jp/>



会社概要

- 会社名：株式会社日立ケーイーシステムズ
- 設立：1980年10月21日
- 本社：千葉県習志野市東習志野7丁目1番1号

1980年に創設以来、日立グループの一員として、お客様の「ベターソリューションパートナー」となる事を企業理念に、幅広いお客様にソリューション・サービス・テクノロジーを提供してまいりました。

- 産業、流通、公共分野向けシステムインテグレーション
- ソフトウェア受託開発、組込ソフトウェア開発
- 特長ある情報機器製品、パッケージソフトのご提供

の他、導入・保守・運用に関する業務支援まで、デジタルシステムのフルライフステージにわたり、豊富な現場経験に基づく制御と情報技術を駆使し、幅広く事業展開をしています。

わたしたちはこれからも、お客様のデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するために日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション・サービス・テクノロジーを提供し、Lumada*事業を推進してまいります。

*Lumadaは、「illuminate(照らす・解明する・輝かせる)とData(データ)を組み合わせた日立の造語です。

おもな事業

- ソリューション事業
- システムプロダクツ事業
- BPOサービス事業

製品及びサービスの概要

■ソリューション事業

デジタルサイネージソリューション「MediaSpace」

- ・鉄道・空港・オフィス・商業施設など、社会インフラを支えるさまざまな生活シーンで、各種システム・センサーとの情報連携、データの利活用・可視化により、人々のQoL(Quality of Life)向上を推進

IoT・現場DXソリューション「WORKFRONT」

- ・弊社が取り組んできた現場系情報システム(IT)と制御系情報システム(OT)のノウハウを組み合わせて、現場の最適化を実現するソリューションを提供し、データの収集から加工、活用まで一貫して現場のデジタル化をご提供

■システムプロダクツ事業

創業以来積み重ねてきたシステムソフト開発の技術と信頼をご提供

- ・組込、通信、各種デバイスに精通したシステムソフトおよびツール開発
- ・お客様業務をアプリケーションアウトソース、業務DX支援や働き方改革にも貢献
- ・専門資格者による高度な技術力の提供(高度情報、セキュリティ、プロジェクト管理など)

「現場」ニーズ・環境条件にマッチしたハードウェアソリューション

- ・堅牢性と長期安定供給を実現した業務用タブレット・タッチパネル端末
- ・お客様ニーズや業務に対応する専用端末のカスタム開発
- ・重度障害者向け意思伝達装置、可搬型運転検査器などユニーク製品



■BPOサービス事業

IT製品のライフサイクルにおける各種プロセスのワンストップサービス

- ・情報機器のディストリビューション
- ・IT機器のキitting・設置導入、資産管理、修理・保守、リユース・リサイクルサービス

お客様ビジネスの業務プロセスを支援

- ・産業系製品の設計、開発、品質保証、検査、修理関係業務などの業務受託
- ・情報機器の設計開発、拡販、運用支援などの業務受託
- ・お客様業務をアウトソース、働き方改革にも貢献



株式会社ケイエム
KM CO. LTD.

<https://www.kmcf.co.jp/>



会社概要

- 会社名：株式会社ケイエム
- 設立：1989年7月1日
- 本社：福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目26-29 九勸博多ビル8階
- 東京オフィス：東京都港区三田3-11-36 三田日東ダイビル6階



福岡本社



東京オフィス

事業内容

弊社では創業当初からバーコードを使ったソフトウェアの開発を手がけています。その納品数は1,000をはるかに超え、いまなお多数のシステムを納品しており、物流倉庫システムのノウハウはケイエムが最も得意とする分野です。バーコードやRFIDなどの自動認識技術は、「速く」「正確な」「情報の取得」を可能にします。弊社はこの技術を駆使して、「業務効率化」「省力化」を図り、お客さまへ「安心・安全な」システムソリューションを提供し続けています。30年以上の実績で培った確かな技術をベースに下記事業を3本の柱として、今後もお客さまの経営課題をトータルなシステムソリューションで解決してまいります。

- 物流システムソリューション事業
- FAシステムソリューション事業
- インターネットプロバイダ事業

製品 / サービス

- | | |
|-------------------|------------------------|
| ■在庫管理パッケージ | インベントリーマイスター |
| ■インターネットプロバイダ | Comel Internet Service |
| ■ネットワークVPNソリューション | KM VPN-BOX |
| ■クラウドデータセンター | SaaS支援サービス |
| ■スマートウォッチ | 業務支援サービス |
| ■ATOM (IoT) | 位置測位システム研究開発中 |



アビームコンサルティング株式会社
ABeam Consulting Ltd.

<https://www.abeam.com/jp/>



事業及びサービスの概要



会社概要

- 会社名：アビームコンサルティング株式会社
- 設立：1981年4月1日
- 代表者：山田 貴博
- 拠点数：28拠点
- 連携パートナー拠点数：132拠点
- 本社：東京都中央区八重洲2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー



- マネジメントコンサルティング (経営診断・戦略立案・M&A・アライアンス)
- ビジネスプロセスコンサルティング (業務改革・組織改革・アウトソーシング)
- ITコンサルティング (IT戦略・企画立案・システム開発・パッケージ導入・保守)
- アウトソーシング

アビームコンサルティングは、アジアを中心とした海外ネットワークを通じ、それぞれの国や地域に即したグローバル・サービスを提供している総合マネジメントコンサルティングファームです。

戦略、BPR、IT、組織・人事、アウトソーシングなどの専門知識と、豊富な経験を持つ約8,300名のプロフェッショナルを有し、金融、製造、流通、エネルギー、情報通信、パブリックなどの分野を担う企業、組織に対し幅広いコンサルティングサービスを提供しています。

アビームコンサルティングは、企業や組織とともに新たな未来を共創し、確かな変革に導く創造的パートナーとして、企業や社会の変革に貢献します。



SAGジャパン株式会社
SAG Japan Co., LTD.

<https://www.sag-rfid.co.jp/>



会社概要

- 会社名：SAGジャパン株式会社
- 設立：2015年12月
- 本社：東京都練馬区旭丘1-3-8



SAGはタグ製造企業として、RFID課題に技術でお応えします。

RFIDタグ製造企業として、長年積み重ねてきたアンテナ設計技術や材料選定、自社開発の設備を用いたカスタム製品開発が特徴です。

Card, Tag, キーホルダー, Label, Sensor搭載製品など、幅広く皆様のご依頼に対応いたします。

製品及びサービスの概要

RFID +1	Label	Tag	Keyfob	Card
MCU マイコン通信 Bluetooth ペアリング IoT	メディア & エンターテイメント 物流管理 図書管理 イベント管理 認証 NFC	資産管理 工場管理 物流管理 追跡管理 動物・家畜管理 相互認証 NFC	入退室管理 電子決済 NFC	交通系ICカード 電子決済 ポイントカード 会員証 IDカード NFC



シリウスビジョン株式会社
SiriusVision CO., LTD.

<https://siriusvision.jp/>



会社概要

- 会社名：シリウスビジョン株式会社
- 設立：2011年4月(ナビタスビジョン)
*特殊印刷機事業：1966年10月(大平工業)
- 代表者：辻谷 潤一
- 従業員：112名
- 本社：神奈川県横浜市港北区新横浜2-4-17
新横浜千歳観光第2ビル
- 事業概要：画像処理ソフトウェア開発・販売
画像検査システム企画・開発・販売
画像検査システムコンサルティング・技術支援
グループ全社の企画・管理、経営戦略の策定など



製品及びサービスの概要

オンリーワンの画像検査技術で目視検査ゼロを目指す、シリウスビジョン株式会社です。
弊社は1966年に特殊印刷機メーカーとして創業したナビタス株式会社を母体に、2011年に画像検査事業会社を設立、2021年に画像検査事業を主体とした現在のシリウスビジョンに社名・体制変更しました。

シールラベル、カード、フィルム(軟包材、転写箔等)、ビジネスフォーム、紙器ダンボールなどに対応した、高精度な印刷品質検査およびバリエーション豊富な検査可能な、自動検査のトータルソリューションを提供しており、印刷製造工程の上流から下流までを網羅し、独自の画像処理アルゴリズムにより過検出・誤検出を抑えた検査ができることが一番の特長です。

近年ではAI技術も採用し、印刷工場のスマートファクトリー化への貢献も見据え、世界のモノづくり現場での目視検査ゼロ化を目指しています。



ロールラベル検査機 S-Lab Combi



株式会社エイジス
AJIS CO., LTD.

<https://www.ajis.jp/>



会社概要

- 会社名：株式会社エイジス
- 設立：1978年5月23日
- 本社：千葉県千葉市花見川区幕張町4-544-4
- 支店・事業所数：83営業拠点

売場の課題、あれも、これも

エイジスの棚卸と店舗サポートサービスが解決します。
店舗立ち上げから運営、棚卸、リサーチ、受取、廃棄まで
お客様のさまざまな課題を解決する店舗サポートサービスを提供します。

年間総サービス実施店舗数 約210,000店
年間取引先企業数 2,500社以上



製品 / サービスの概要

- | | |
|---------------|----------------------|
| 棚卸サービス | マーチャライジングサービス |
| 1. 店舗棚卸 | 1. 集中補充 (商品補充・品出し) |
| 2. 固定資産棚卸 | 2. 季節の棚替え・カテゴリリセット |
| 3. 災害備蓄品棚卸 | 3. 賞味期限チェック |

リサーチ・コンサルティング・プロモーション

1. ゴンドラ診断システム (PAS)
2. ミステリーショッピング
3. 顧客満足度調査

事業内容

チェーンストアの発展を支え、その先をみつめるエイジスグループ

エイジスグループの事業3つの主要セグメント

- 1 国内棚卸サービス**
自社の端末・ソフトウェアを使用し、商品のカウントからデータ納品・報告書作成までを提供しています。
- 2 海外棚卸サービス**
国内で培った技術・ノウハウを活かし、中国や東南アジア各国で棚卸サービスを提供しています。
- 3 リテールサポートサービス**
店舗の売場づくり、接客や販促、運営上の課題解決など、多面的なサポートを提供しています。



株式会社 弥栄
YAEI CO., LTD.

<http://yaei-corporation.co.jp/>



会社概要

- 会社名：株式会社 弥栄
- 設立：1981年5月
- 代表者：小川真司
- 本社：大阪府大阪市生野区巽西2-7-4

医療機器、食品加工機械、精密機器などにマルチに対応
ワンストップサービスでコストとスピードに対応
考え・提案し・一歩先を行くモノ創りを目指します。



製品とサービス概要

お客様のニーズに対応すべく様々な設備で多種多様な製品を提供いたします。
シートメタル業界のトータルプランナーとしてお客様のご要望にお応えいたします。

- | | | |
|------------|-----------|---------|
| ●パンチレーザー加工 | ●レーザー加工 | ●曲げ加工 |
| ●切削加工 | ●スポット溶接加工 | ●バリ取り加工 |
| ●生産加工 | ●品質加工 | |

- 最新のパンチング機能で加工時の傷が発生しない。
- 熟練した職人技術による高品質な曲げ加工。
- テーブルスポットだからできる高品質な溶接。



2024年度 自動認識技術者 資格認定講習・試験

多くの産業分野や私たちの生活で利用されている「自動認識技術」に関する知識を、提供する人と利用する人が、正しく学び習得するための技術者認定試験です。

自動認識基本技術者資格認定講習・試験	講習：オンライン形式（再視聴あり）	試験：集合形式（全国複数会場）
RFID専門技術者資格認定資格講習・試験	講習：集合 or オンライン形式	試験：集合形式（東京会場）

自動認識技術者資格認定講習・試験 概要

■目的

自動認識技術を活用したシステムの導入・改善などの技術的ニーズに、的確・迅速な対応ができるよう、エンジニアリング業務、システム業務、販売・販売支援業務に従事する自動認識技術者を育成・拡大するために、一般社団法人日本自動認識システム協会が講習・試験を実施し、合格者の認定・登録を行うものです。

■資格等級と対象者

●自動認識基本技術者資格

自動認識技術の基本となる「バーコード・二次元シンボル」、「RFID」、「生体認証」、「標準化」の4科目の基本となる知識を習得します。

対象は、自動認識システムに携わる企業の新入社員・中堅社員、学生、一般社会人などです。

●自動認識専門技術者資格

「バーコード・二次元シンボル」、「RFID」の各科目の専門的な知識を習得します。

対象は、「自動認識基本技術者資格」を取得されており、さらに専門的な知識の習得を目指す方です。

■資格取得者の認定

資格取得者が自動認識技術に関する知識を習得していることを証明するものとして、当協会が登録証、登録証明書を発行します。

また、資格取得者は当協会のWebサイトで氏名を公表しています。

*希望により非公表も有。



登録証見本

■講習・試験日程

●第52回自動認識基本技術者資格認定講習・試験				
日程	講習 (オンライン)	講習再視聴 (オンデマンド配信)	試験 (会場集合)	
7月4日(木)	7月5日(金)	7月6日(土)~12日(金)	7月13日(土)	
10:30~16:30	10:30~16:30	24時間	13:30~14:50	
受講科目	標準化 RFID	バーコード バイオメトリクス	全4科目	東京・大阪・仙台 4科目受験
●第53回自動認識基本技術者資格認定講習・試験				
日程	講習 (オンライン)	講習再視聴 (オンデマンド配信)	試験 (会場集合)	
11月7日(木)	11月8日(金)	11月9日(土)~15日(金)	11月16日(土)	
10:30~16:30	10:30~16:30	24時間	13:30~14:50	
受講科目	標準化 RFID	バーコード バイオメトリクス	全4科目	東京・名古屋・福岡 4科目受験
●第19回RFID専門技術者資格認定講習・試験				
日程	講習: RFID (JAISA会議室・オンライン)	試験 (会場集合)		
2025年2月6日(木)~8日(土)	9:00~16:00	2025年2月15日(土)	13:00~14:30	東京

■受講・受験料

●自動認識基本技術者資格認定講習・試験				
受験回数	一般	会員割引	学生割引(料金)	受験料 (試験のみ)
1回目受験 (テキスト有)	40,000円 (税込価格 44,000円)	30,000円 (税込価格 33,000円)		
1回目受験 (テキスト無)	32,000円 (税込価格 35,200円)	24,000円 (税込価格 26,400円)	15,000円 (税込価格 16,500円) 毎回	10,000円 (税込価格 11,000円) 毎回
2回目受験 (テキスト有)	15,000円 (税込価格 16,500円)	15,000円 (税込価格 16,500円)		
●RFID専門技術者資格認定講習・試験				
受験回数	一般	会員割引	受験料 (試験のみ)	
毎回	50,000円 (税込価格 55,000円)	40,000円 (税込価格 44,000円)	20,000円 (税込価格 22,000円)	

■お問い合わせ

(一社)日本自動認識システム協会 事務局
Phone 03-5825-6651 | license@jaisa.or.jp

www.jaisa.or.jp



AUTO-ID & COMMUNICATION EXPO 第26回自動認識総合展

2024.9.11^{WED}-13^{FRI} **ゾーン展示** 画像認識×AIゾーン
10:00-17:00 東京ビッグサイト 西ホール



主催：一般社団法人日本自動認識システム協会

併催事業：**BT Space** 自動認識セミナー

www.autoid-expo.com



公式サイトはこちらから



展示会事務局 (株)シー・エヌ・ティ
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST神田須田町4F TEL: 03-5297-8855 FAX: 03-5294-0909 info@autoid-expo.com



会報 JAISA 第79号 発行所：一般社団法人日本自動認識システム協会 発行人：専務理事 古村浩志
事務局：〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル7F TEL: 03-5825-6651 FAX: 03-5825-6653 <https://www.jaisa.or.jp/>